

福寿草の会 だより

福寿草の会
愛川町介護者の会
第151号
2019年5月9日
連絡先 愛川町社会福祉協議会
Tel 046 (285) 2111



京

改元に伴う、10日間と、長かった休みも終わりました。皆様には、いかがお過ごしでしたか？
家族に病人がいたり、幼な子がいたりすると病院が休みの間は気が気ではありませんね。やっとホッとされたことでしょう。
令和元年、平和で、格差のない社会であってほしいです。

次回のつどいは
5月21日(火) 12:30 ~ 15:00
総会を行います

- 場所 町福祉センター3階会議室
- 12:30~13:30 昼食と懇談
 - 13:30~15:00 総会
- ▷昼食を準備する都合上、出欠の連絡を17日(金)までに、役員または小沼(TEL 285-4166)へ、お知らせ下さい
 - ▷当日、1年分の会費1200円と弔慰金1000円、計2200円を集めます。よろしく願いいたします。
 - ▷会員ではない方の参加も大歓迎です。介護のことで、お困りの方、お悩みの方、同じ経験をしている仲間と、気かねなく話せる場です。今回は総会で、いつものつどいは、ちょっと違いますが、会の様子が少しはわかっていただけるのではないかと思います。



4つの家族会 交流会 in 座間

7月3日(水)の予定です
座間・手をつなぐ介護者の会の主催です。予定しておいて下さい。

本貸し出しできます

- 福寿草の会には、寄贈された本や購入した本が数冊あります。貸し出しもいたします。以下、一部ですが、
- ・「今日もにこにこきよこさん」 横戸喜平治 著(海老名市)
 - ・「いっはいこめん いっはりありがと」(絵・文) 岡上多寿子 著
 - ・「ホスピス医が自宅で夫を看取るとき」 玉地 任子 著(厚木市)
 - ・「ペコロスの母の玉手箱」 岡野雄一 著
 - ・「認知症の理解と援助」 杉山寿博 著

3月のつどいから 親睦会



3月26日、13名の会員が参加。睦合ホーム内 慈光庵をお借りして、手づくりの心のこもった、おいしいお弁当をいただきながら 歓談しました。
お一人お一人の近況や今の思いと共に、会の行く末も話題に上りました。
会員も大半が70代となり、車の運転、相乗りも困難になってきましたし、看取りを終え、自身の老後問題の比重が増してきました。総会での話合いに引き継ぎたいと思います。
その後、近くに1月にオープンしたあつき郷土博物館を見学しました。
古墳時代の土器や埴輪、また江戸時代の厚木宿の水路の模型等、また、特別展示室には、浮世絵が展示され、版画の摺り道具や、彫り方の説明図などもありました。
学芸員さんが、ていねいに説明して下さい、わかりやすく、興味をそそられました。
「愛川町の道祖神巡り(特に半原方面)をした いね」との声も出て、これはぜひ実現したいものです。
桜は、まだ咲き始めたばかりでしたが、そぞろ歩きも少しだけできて、気持ちのリフレッシュにもなりました。今回のつどいでした。



悲しいお知らせ

馬場保政さんが介護していた実母マさんが、2月15日にお亡くなりになりました。
100歳のお祝いの写真が、町広報1月号に掲載されたばかりでした。眠るように、静かに旅立たれたとのこと。
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

うぶやき...

館野雅子

ある日、ズボンの上にパンツをはいて、片足だけの靴下姿で、「おはよう、お世話になりますらう」って、可笑しくて、愛おしくて、悲しくて...
病状の知識及ばず吐ったこと
もう届かぬは許しえう声
延命の細き糸絶つ断腸の
梅は今なお我れを打つなり



ことば・コトバ

- 鎌田 實 医師のことば
 - ① 貯金より貯筋
 - ② 何か一つは、人のために
 - ③ “〇〇にもかかわらず” の実践
(〇〇には、何を入れても、ピタ) ときます。お試しを。
- 1・10・100・1000・10000
 - 1: 朝起きたら1杯の水を飲む
 - 10: 一日に10人と話す
 - 100: 一日に100文字を書く
 - 1000: 一日に1000文字を読む
 - 10000: 一日に10000歩歩く
(一日に10000歩はあくまでも目標で、10人と...も、難しい?)